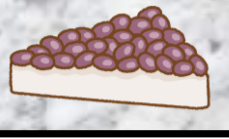


豊中市立第十五中 学校だより 一期一会



↑6月になると店頭には並ぶこの和菓子は何？
答え →ことばの泉③に

ビオトープフェスタ

6/4(金)6/6(日)ミニコンサート



→各日、異なるメンバーでそれぞれ4曲を披露。吹奏部のみならず、あがごも演奏しました。

【今秋で25年を迎えます】

鳥がだいたいの実をついばみ、ドクダミや数々の野の花が咲き、池にはいろいろな水生生物が住み着いています。

この東門横のビオトープと園庭が完成したのは、1999年9月、創立21年目の秋でした。それまでの十五中は「荒れ」ていた時期もあり、生徒や教職員は良い学校づくりのために一生懸命でした。

「花や緑がいつぱいの環境をつくれれば、必ず生徒の心にも良い影響を与える」と、学校・PTA・地域の方々によるビオトープづくりが開始されました。(最初は3年生徒の手掘りから始まったそうです)、9月25日の「見学と感謝のつどい」では、多くの人が完成を祝いました。

その後も、生徒・地域の方々による整備や、「ビオトープ米を食べる会」「コンサート」などで人々に親しまれ、現在に至っています。

【人がつながる憩いの場に】

今回のビオトープフェスタは、初夏の青空のもと、多くの生徒・教職員のほか、保護者やお声かけした近くのグループホームのみなさんとともに楽しむことができました。

庭園を背景にしたミニコンサート。いつもとは違うちょっと贅沢な昼休みでした。

午後の庭園に入ってみました。用務員さんが草刈りをしてくれたばかりで、風にのって草の匂いを感じます。

入口にサクラとアキニレ、その奥にケヤキの大木があり、昼間でも大きな日陰となっています。藤棚からは細長い豆

が多数ぶらさがっていました。ひょうたん型の池の脇には梅の木、その奥は畑になっています。

先日野菜の種を植えたところですが、数か所ある花壇に、PTAの方が花を植えてくれましたが、早くも虫たちが訪

れています。これから夏を迎え、さらにいろいろな訪問者がやってくるでしょう。

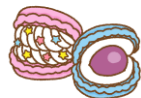
この小さな自然を通して、人々がつながり、環境への関心が高まってくればと願っています。



【6/5 2年校外学習】

スローガン「協学笑楽く韓国料理に178種のスパイスを添えて」のもと、コリアタウンをめざし、桃山台駅から通勤・通学者の多く乗車する電車での旅でした。

鶴橋駅を降りて、徒歩でコリアタウンに向かいます。キムチ作り、チョゴリ・チャンゴ体験、食べ歩きなどを満喫しました。



班ごとのフィールドワークではハングルを探したり、指令の写真をタブレットで撮ったりなど、豊かな文化に触れた1日でした。

【6/7 1年校外学習】

「笑顔いっぱい190人協力し合って万博を目指せ」の目標のもと、少路駅から班ごとにモノレールに乗りし、万博記念公園を目指します。

太陽の塔前で記念撮影後、オリエンテーリング。班長を中心に班員も係の役割を果たし、協力し合い公園内を探索します。

かなりの距離を歩き回り、お腹を空かせた後は、広場で楽しい昼食の時間となりました。

午後は学年レクで、全員が大ハッスル。仲間の意外な一面も見られ、絆も深まりました。



ことばの泉③

いみょう 月の異名

国語(古典)の時間に習う、一月、二月……十二月の別の呼び方のことを「月の異名」と言います。睦月(むつき)、如月(きさらぎ)、弥生(やよい)……と呪文のように唱えて覚えたものですが、現在でも、五月(さつき=五月)、師走(しわす=十二月)はよく使われていますね。

実は、月の異名は月ごとに一種類ずつではありません。例えば、三月は弥生のほかに、桜月(さくらづき)、蚕月(さんげつ)、雛月(ひいなつき)などの呼び方があります。

気候・自然・行事などにちなんだ様々な月の異名が使われてきたのですが、そのうち代表的な各月の一つを「月の異名」として習っているわけです。

さて、今号タイトル下のイラストは「水無月(みなづき=六月)」という名の和菓子です。うしろの上にあずきがのっけていて、校長の一押しです。